

2. 事業の目的と概要

(1) 事業概要	ジョイセフは、2014 年 12 月より実施した「妊産婦・新生児保健ワンストップサービスプロジェクト」の経験や学びをもとに、2018 年 1 月に本事業を開始し、「女性の生涯の健康」の確保を視野に、保健人材育成や保健サービスの質の向上に取り組んでいる。本事業は、ワンストップサービスサイトの拠点づくりをはじめ、保健医療従事者の育成、草の根保健ボランティアである母子保健推進員 (SMAG) や若者ピア・エデュケーター (PE) による啓発教育活動の強化、妊産婦・新生児保健サービスの質の向上により、SDG3 に該当する妊産婦死亡率及び新生児死亡率の低減及び家族計画をはじめとするサービスの利用を促進し、SDG5 の性と生殖に関する保健サービスへのアクセスを向上させることに寄与する。 To improve access to quality reproductive health services by promoting women's health throughout the life cycle in rural areas, JOICFP will establish a One Stop Service Site; a compound consisting of a maternity ward, maternity house, youth center and residence for midwives. Under this project, trainings for Safe Motherhood Action Groups (SMAGs) and Young Peer Educators (PEs), teachers, traditional leaders will be conducted for increasing health seeking behavior which will contribute to SDGs Goal 3 and Goal 5.
(2) 事業の必要性 (背景)	(ア) 事業実施国における一般的な開発ニーズ ザンビア共和国は南部アフリカ開発共同体 (SADC)、東南部アフリカ市場共同体 (COMESA) の主要メンバーであり、地域の政治経済的安定に貢献している一方、経済発展に必要な道路や電力等の経済インフラ、及び医療・保健や教育等の社会インフラは未発達である。とりわけ地方の農村部の貧困率は高い。国連ミレニアム開発目標の保健目標の進捗、例えば妊産婦死亡率は 440 (2012 年) から 224 (2017 年) と減少したが、都市と農村の格差は大きく、訓練された助産者による出産は、都市で 88.5%、農村では 51.6% である*。SDG3 の妊産婦死亡率及び新生児死亡率の低減及び家族計画をはじめとするサービスの利用促進を図らなければならない。 農村地域では特に、母子保健を含む医療・保健サービスの不足が深刻である。最大の課題は保健施設までの距離が遠いため自宅で出産し、緊急事態が起きても病院への搬送が困難である。 前事業「妊産婦・新生児保健ワンストップサービスプロジェクト」では、母子保健棟・マタニティハウス・ユースセンター・助産師住居を建設し、ワンストップサービスサイトとして、サービスの質の向上を図り、保健医療従事者、SMAG、若者 PE などの育成により地域での啓発教育活動を強化してきた。マタニティハウスやユースセンターでのコミュニティ参加型ペインティングにおいても住民への技術移転を重ね、現在は住民がオーナーシップを高め、住民主体なペインティングによる啓発教育活動に発展してきた。保健サービスへのアクセスの改善により、プロジェクト地区における保健施設で出産する割合は、2014 年の 37.1% から 2017 年は 52.3% に増加した。 しかしながら、十代の若年妊娠や児童婚、性感染症に関する課題は保健省 5 か年計画においても重要課題として挙げられており、十代 (15 歳～19 歳の女子

1000人当たり)の出産数は日本では4、東・南アフリカでは、95であるが、ザンビアは145と非常に高い数値を示している*。女性の生涯にわたる健康の視点から見ると、思春期のリプロダクティブ・ヘルスの課題は大きい。望まない妊娠によって学校を辞めざるを得ない、あるいは両親が娘の早期結婚を望むケースなどもあり、思春期層及び支援環境づくりのための啓発教育活動が急務である。また、女性特有の疾病である子宮頸がん、乳がん対策を政府は推奨しているが、地域での早期発見・予防啓発教育活動を強化する必要がある。若者及び女性特有の疾病への健康対策が「女性の生涯にわたる健康」の視点から抜け落ちており、対象者は「取り残されて」いるのが現状である。

上記の背景を踏まえて、本事業では、これまでの経験を活かし、「女性の生涯の健康」の確保を視野に、思春期保健、妊産婦保健、乳幼児を持つ母親、乳がんや子宮頸がんの女性特有の疾病に関する予防啓発教育活動を促進するため、人材育成と同時に、ワンストップサービスサイトを拠点としたヘルスプロモーション活動を強化する。

*出典：世界人口白書 2017 年 (UNFPA)

(イ) 申請事業内容 (対象地域及び事業内容)

対象地域：

プロジェクト対象地区のコッパーベルト州（マサイティ郡、ムポングウェ郡、ルフワニャマ郡）は農村地域である。首都ルサカから約 400km 北に位置する貧困率の高い地域（搬送先の病院まで平均約 60km）。ザンビアの農村部における施設出産の割合は 51.6% (2015 年) であり、都市部の 88.5%と比較しても低い水準となっている。

前事業の対象地区 10 地区（マサイティ郡 5 地区、ムポングウェ郡 5 地区）は、地域で継続した啓発教育活動が実施されるようフォローアップを行うが、新規の対象地区であるマサイティ郡の 3 地区は、近年建設されたセメント工場で働く住民が多く移住し、人口が増加している地域である。保健施設まで一番遠い地域で 45 kmとアクセスの課題は大きい。また、ザンビアで 4 番目に大きな面積を有するルフワニャマ郡の対象地区は、郡病院から約 60-80km 離れているため、緊急の搬送が手遅れとなる。また SMAG は数名しかいないが、住民の保健活動への積極性は高く、保健医療従事者の住居を住民が中心となって建設している。そのため、ルフワニャマ郡東部の拠点として、初のワンストップサービスサイトを整備し、若者、妊産婦を含む女性の生涯の健康づくりを推進する。

さらに、出産に必要な基礎的医療機材や医薬品、サービスを提供する保健医療従事者が不足していることも課題となっている。例えば、助産師はマサイティ郡では人口 14 万人に対し 36 人、ルフワニャマ郡では人口 9 万 8 千人に対し 32 人である。十分な妊娠・出産、家族計画、性感染症などに関する適切な知識・情報の啓発教育活動の強化が必要である。

●「持続可能な開発目標 (SDGs)」

本事業は、保健医療従事者の育成、草の根保健ボランティアである SMAG や若者 PE による啓発教育活動の強化、妊産婦・新生児保健サービスの質の向上により、SDG3 に該当する妊産婦死亡率及び新生児死亡率の低減及び家族計画をはじめとするサービスの利用を促進し、SDG5 の性と生殖に関する保健サービスへのアクセスを向上させることに寄与する。また、SDG17 を見据えてさまざまな関係者・協力機関と連携し、それぞれの強みを効果的に活用した連携強化を推進

	する。 ●外務省の国別開発協力方針 本事業は、「対ザンビア共和国国別援助方針」の重点分野（中目標）として挙げられている持続的な経済成長を支える社会基盤の整備の保健サービスへのアクセス改善と一致している。 ● TICAD VI における我が国の取組み 2016年のTICAD VIの「ナイロビ宣言」の優先順位でもある「質の高い生活のための強靱な保健システム促進」のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）と一致しており、母子継続ケアの推進に寄与する。また、民間セクター開発に明記されている官民連携や特に女性や若者の雇用創出に向けた活動促進とも一致する。2019年に予定されているTICAD VIIでは、前回ナイロビで開催されたTICADVI同様に、本事業の成果発表を企画する予定である。
(3) 上位目標	プロジェクト対象地域において、若者や妊産婦を含む女性の健康改善に寄与する。
(4) プロジェクト目標	プロジェクト対象地域において、若者や妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービス利用へのアクセスが増加する。 ・保健施設で提供する若者や妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービスの質が向上する ・思春期、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮頸がんを含む生涯を通じた女性の健康に関する知識と情報が地域住民に届く ・持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリングが強化される
(5) 活動内容	■全体 ワンストップサービスサイトによる生涯を通じた女性の健康づくりを目指し、第2年次は以下の戦略の下、事業を展開する。 ➤ 思春期保健の強化： 郡保健局・郡教育局との連携のもと、学校及びコミュニティで、学校教師や伝統的リーダーも含め、思春期の女性のエンパワメント（能力強化）に向けた活動を行う。また、ジェンダーの観点で、スポーツを取り入れたライフスキルやリーダーシップに関するワークショップを通し、若年妊娠の予防、HIV・性感染症の予防、性暴力の予防を統合させたプログラム強化を図る。 ➤ 保健医療従事者の能力強化： 保健施設での質の高い保健サービスの提供に向け、クライアントフレンドリーサービス（患者の立場にたったサービス（例：わかりやすい説明と丁寧な対応、待ち時間を減らすなど）、男性参加を促進するための両親学級プログラム、女性の疾病予防（乳がん・子宮頸がん）を含めた研修を、郡保健局スタッフや保健医療従事者を対象に実施する。地域の保健ボランティアが継続して活動できるよう、保健医療従事者によるモニタリング・支援体制を強化する。 ➤ 相互視察と経験交流の活性化： 活動モデル地への相互視察訪問や好事例・教訓を共有するワークショップをプロジェクト地区運営委員会メンバーに対し開催し、住民同士で学びあ

うことで住民のエンパワメントを図る。

➤ 女性のエンパワメント（自己資金による活動）：

女性やコミュニティのエンパワメント活動として、株式会社リンク・セオリ・ジャパンの社会貢献（CSR）としての資金協力や現地の女性起業家（Fay fabrics）による技術協力を得て、コミュニティ主体の収入創出活動、マーケティング、収入支出計画、縫製スキルなどの技術的支援と女性の健康づくりセッションと統合させ、女性のエンパワメントを促進する。

また、1年次に実施した本邦研修において中央・州・郡・保健センターレベルで立案されたプロジェクト強化計画のフォローアップを2年次計画会議で実施する。

(1) 保健施設で提供する若者や妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービスの質の向上

(f) 保健医療従事者への「コミュニケーション指導者研修」（マサイティ郡3地区、ルフワニャマ郡3地区の保健医療従事者6名、1回×1日@ンドラ）

(i) 保健医療従事者への「サービスの質の向上のための研修（（クライアントフレンドリーサービス、女性の疾病予防（乳がん・子宮頸がんの早期発見））産前健診時の両親学級プログラムの推進、モニタリング強化」（マサイティ郡8地区、ルフワニャマ郡3地区、ムポングウェ郡5地区の保健医療従事者16名、2回×2日間、1回×1日@ンドラ（活動1.1）

(j) ワンストップサービスサイト設置（活動1.2）

ルフワニャマ郡ミベンゲ保健センターを拠点に、妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービスや情報を提供できる場として展開する。

・マタニティハウス、ユースセンター、助産師住居、水タンクの建設（@ミベンゲ）

・基礎的医療機材・医薬資材の供与（47種類、140個@ミベンゲ）

(2) 思春期、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮がんを含む生涯を通じた女性の健康に関する知識と情報の啓発教育

マサイティ郡の若者 PE 養成研修、学校教師・伝統的リーダー・保護者へのオリエンテーションは1年次に実施、2年次はルフワニャマ郡のみで実施する。

(f) 若者 PE 養成研修（ルフワニャマ郡3地区若者 PE60名、2回×10日間）（活動2.1）

(i) SMAG 及び若者 PE へのコミュニケーション強化研修（マサイティ郡3地区：SMAG 24名&若者 PE 24名、ルフワニャマ郡3地区：SMAG 90名&若者 PE 60名、2回×2日間）（活動2.6）

(j) 学校教師・伝統的リーダーへのオリエンテーション・フォローアップ会合の実施（ルフワニャマ郡3地区15名、マサイティ郡3地区15名、1日間）（活動2.2）

(k) 学校教師・保健医療従事者による保護者へのオリエンテーションの実施（ルフワニャマ郡3地区、1日）（活動2.3）

(l) 思春期の女性を対象にしたエンパワメントワークショップ（①指導者研修3地区6名（若者 PE 代表者）、5日間、②マサイティ郡3地区60名、1日間）（活動2.7）

(m) コミュニティ参加型ペインティングワークショップ・施設維持管理会議・開所式（ルフワニャマ郡ミベンゲ地区、8日間、1日間、1日間）（活動

	2. 4) (#) 地域啓発活動計画の策定及び行動変容のためのコミュニケーション教材の 供与・制作・配布（パンフレット等）（SMAG、PE、プロジェクト地区運営委 員会住民を対象に、4 種類、各 500 部配布）（活動 2. 5） (3) 持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリング体制強化 (7) プロジェクト地区運営委員会レビュー会合・フォローアップ会合開催 （マサイティ郡 3 地区+5 地区、ルフワニャマ郡 3 地区、ムポングウェ郡 5 地区）（活動 3. 7） (イ) SMAG 及び若者 PE のレビュー会合（活動 3. 3） （マサイティ郡 3 地区、ルフワニャマ郡 3 地区） (ウ) ワンストップサービスサイト運営委員会会合（活動 3. 5） （ルフワニャマ郡ミベンゲ地区） (エ) 自立発展性のための相互視察研修@ムポングウェ郡カルウェオ地区（活動 3. 6） (オ) プロジェクト地区運営委員会を対象としたモニタリング強化フォローアッ プ会合（活動 3. 7） ➤ 対象人口： <table><tr><th></th><th>間接裨益者 全人口</th><th>直接裨益者 出産可能年齢の 女性（15-49 歳）</th></tr><tr><td>マサイティ郡 （3 地区）</td><td>140, 452 人、</td><td>30, 899 人</td></tr><tr><td>ムポングウェ郡 （5 地区）</td><td>105, 000 人</td><td>23, 100 人</td></tr><tr><td>ルフワニャマ郡 （3 地区）</td><td>98, 084 人</td><td>21, 796 人</td></tr><tr><td>計</td><td>343, 536 人</td><td>75, 795 人</td></tr></table>		間接裨益者 全人口	直接裨益者 出産可能年齢の 女性（15-49 歳）	マサイティ郡 （3 地区）	140, 452 人、	30, 899 人	ムポングウェ郡 （5 地区）	105, 000 人	23, 100 人	ルフワニャマ郡 （3 地区）	98, 084 人	21, 796 人	計	343, 536 人	75, 795 人
	間接裨益者 全人口	直接裨益者 出産可能年齢の 女性（15-49 歳）														
マサイティ郡 （3 地区）	140, 452 人、	30, 899 人														
ムポングウェ郡 （5 地区）	105, 000 人	23, 100 人														
ルフワニャマ郡 （3 地区）	98, 084 人	21, 796 人														
計	343, 536 人	75, 795 人														
（6）期待される 成果と成果を測る 指標	2 年次の成果と指標： 成果①プロジェクト地区における若者や妊産婦を含む女性の生涯を通したサー ビスの質が向上する 1. 1 保健施設でサービスを利用した女性・若者の満足度が向上する 「満足している」と回答した人の割合が、1 年目プロジェクト開始時の 76. 1%か ら 10%向上する 成果②思春期、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮頸がんを含む生涯を通し た女性の健康に関する正しい知識と情報が地域住民に届く 2. 1 思春期保健、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮頸がんを含む生涯を通 した女性の健康に関する正しい知識や情報を得た住民及び若者の数が年間 2 万 人以上となる。 2. 2 パートナーの産前・産後・施設出産に付き添う男性が 10%増加する 2. 3 出産計画カードを活用する女性が 78. 2%から 5%増加する 2. 4 月経にまつわる迷信・理解について正しい知識が向上する 2. 5 月経で学校を欠席した日数が減少する 2. 6 乳がん・子宮頸がんの相談件数が増加する 成果③持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリング体制が強															

	化される 3.1 プロジェクト地区運営委員会によるコミュニティ活動計画が策定される 3.2 持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリングが年 2 回行われる。
(7) 持続発展性	ザンビア保健省、州・郡保健局及び郡教育局、PPAZ と各関係機関の役割を明確にし、密な連携のもと、計画、実施、モニタリングし、事業の持続性のため郡保健局によるモニタリング・支援体制を強化する。 人材育成は、保健医療従事者を指導者として育成することにより、保健医療従事者が SMAG や若者 PE を育成し、事業の終了後も政府が引き継いでいく体制を確立させる。また、郡保健局の監督・管理のもと、地区運営委員会が活動の継続性のためのコミュニティ活動計画策定を行う。さらに、塩野義製薬や現地の女性起業家や教育省やジェンダー省などのマルチセクターによる連携を促進し、コミュニティ主体による収入創出活動や縫製スキル向上などを通じて、地域での啓発教育活動、マタニティハウスやユースセンターなどの施設の維持・管理を行う体制を整える。 前事業の取り組みは、事業成果のみならず、SDG や TICAD といった国際的な取り組みにも貢献し、「NGO・外務省定期協議会、第 1 回連携推進委員会」において、N 連事業の成果例として取り挙げられた。 本事業の若者・妊産婦を含む生涯を通じた女性の健康促進に関する取り組みについて、他地域でも汎用可能な教材を女性の生涯の健康のパッケージ（啓発教材）として制作することにより、事業終了後もプロトタイプとしてザンビア保健省の承認のもと、本事業の経験が拡大していくことを目指すと同時に、国際的な取り組みとしての成果例となることを目指す。

(ページ番号標記の上、ここでページを区切ってください)